

# 教育に携わる皆さんと共に



支部長  
矢嶋 英敏

本誌のタイトルが「明日をきずく」とされた経緯を探ろうと過去に遡ってみたら、平成2年度発行の第22号からこのタイトルになっていた。その年は、前年度末に認可された財団法人としての第一歩を踏み出した時で、その後、法人制度改革を経て平成24年度からは公益財団法人に移行した。そして「最終受益者は子どもたち」を理念とする「公益事業(教育振興事業)」を通じた岐阜県教育進展への寄与や教弘会員の皆様を対象とした「福祉事業」、ジブラルタ生命保険株式会社と提携する共済事業(生命保険事業)を推進している。

公益財団法人日本教育公務員弘済会(略称:弘済会)の事業は、教職員の皆様(退職された方も含めて)に支えられ進められているが、教育が担うことは時代がどのように変わろうとも、教育学者森 信三先生の言葉

教育とは、流れる水に文字を書くような果てない仕事です。しかし、それをあたかも巖壁にノミで刻みつけるほどの真剣さで取り組まなければなりません。教員がおのれ自身、赤々と生命の炎を燃やさずにいて、どうして生徒の心に点火できますか。教育とは、それほどに厳粛で崇高な仕事なのです。

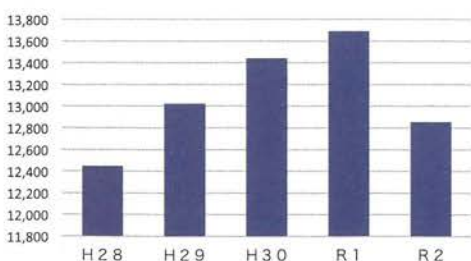
に込められた思いとともに受け継がれていくものだと信じている。

弘済会岐阜支部は、支援して下さる方々への感謝の気持ちを忘れず着実に歩みを進めて参ります。今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。

## 公益財団法人日本教育公務員弘済会岐阜支部の歩み

年度	主なできごと	教育振興事業	福祉事業
昭和 32年度(1957)	岐阜県教育公務員弘済会設立		
35年度(1960)		貸与奨学事業開始	
44年度(1969)			「入学祝品」開始
54年度(1979)			「施設利用補助」開始
56年度(1981)		「団体研究助成」開始	「結婚祝金」「誕生祝金」開始
平成 1年度(1989)	岐阜県教育委員会より財団法人として認可 (3月29日)		
2年度(1990)		「教育研究大会助成」「教育活動助成」 「文化施設助成」開始 給付奨学事業開始	「成人祝金」開始
4年度(1992)	経理事務、会員管理を電算化		
6年度(1994)			「災害見舞金」開始
7年度(1995)			「傷病見舞金」開始
13年度(2001)	ジブラルタ生命保険株式会社が共済事業提携を 協栄生命保険株式会社から引き継ぐ		
14年度(2002)	参事制度導入		
21年度(2009)		「特別学校助成」開始	
24年度(2012)	公益財団法人日本教育公務員弘済会岐阜支部設立 株式会社岐阜教弘設立		
27年度(2015)		「へき地学校教育支援」開始	
28年度(2016)			「健康増進補助」開始
29年度(2017)	友の会(退職会員)を発足		「TPライフ補助」開始
30年度(2018)			「教員免許更新講習補助」開始
令和 1年度(2019)			「書籍購入補助」開始

事業費総額の推移 (単位:万円)



各事業費の推移 (単位:万円)

